



# 非正規職シングル女性の 社会的支援に向けた ニーズ調査報告書



**2016年3月**

公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会

一般財団法人 大阪市男女共同参画のまち創生協会

公立大学法人 福岡女子大学 野依智子

## はじめに

本調査は、公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会、一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会、公立大学法人福岡女子大学教授野依智子氏の3者により、非正規職で働くシングル女性の仕事と生活の実態を明らかにするために実施したものである。

近年、男性の非正規労働者が増加していることが指摘され、社会問題化している。こうした状況を受け、若年非正規労働者についての調査や、壮年非正規労働者についての調査は実施されているが、今回対象とした非正規職で働く壮年のシングル女性に絞った調査は前例がない。

女性の過半数が非正規労働者として働いている事実は、早くから知られていた。しかし、女性は「家族（父親や夫）に扶養される存在」であって、自ら「家計補助的働き方（非正規雇用）」を選択していると見なされ、社会問題化しなかった。男性も女性も一人の労働者として等しい存在であるにもかかわらず、「家族を養い、家計の主たる稼ぎ手である男性の非正規雇用」は問題であるが、「家族（父親や夫）に包摂される女性の非正規雇用」は問題ではないと、社会から見過ごされてきたのである。しかし、社会情勢は大きく変化し、生涯未婚率の上昇に伴って、家族に包摂される女性は減少し続けている。経済的自立をめざして働いているのに生活できない。男女共同参画センターの支援の現場でも、そんな声が聞かれるようになった。そこで、これまで女性に寄り添ってきた男女共同参画センターとしての立場から、可視化されてこなかった当事者の実像に迫り、その実態を明らかにするとともに、支援ニーズを把握するために調査を行った。

本調査は、調査依頼を広めていく活動そのものが問題を伝え、キャンペーンとなることを意図して実施した。ウェブアンケート調査の告知は、横浜市、大阪市、福岡市を中心に行ったが、インターネットを活用した調査ということもあり、上記3都市在住者以外からも回答が寄せられ、小規模ながら261人の有効回答を得ることができた。グループインタビュー調査については、いずれも大都市である横浜市、大阪市、福岡市において実施した。したがって、今回の調査で把握したのは、主に大都市圏で生活する非正規職シングル女性の声であり、必ずしも地方で生活する当事者の仕事と生活についての実態と支援ニーズまで把握できているとはいえず、別途の調査が待たれる。

一人ひとりの声に耳を傾げるかたちで調査を実施した結果、ウェブアンケート調査やグループインタビューからは、年代や働き方により暮らしぶりや困りごとなどが大きく異なることが鮮明になり、これまで社会に知られることのなかった当事者のさまざまな想いを伝えるさきがけとなった。今回は、3都市における手探りの調査ではあったが、社会で共有すべき課題を確認する足がかりになったと考える。調査協力者の多くが、「当事者として、まず声を出していこう」と語った。調査実施者としては、当事者の勇気を支えることを基本に、課題解決に向けた今後の取り組みを検討していきたい。

しかし、この問題は男女共同参画センターのみで解決できるものではない。また、非正規職シングル女性の苦しみや悩みは、当事者だけのものではなく、すべての働く人を含む社会全体の問題でもある。本調査は、回答者の数および居住地の範囲が限られており、非正規職シングル女性の全体像を表すまでには至っていない。本報告を機に、社会全体でこのテーマについて考える機

会が広がって行ってほしい。そのためにも、国や自治体、研究機関など、しかるべき主体による非正規職シングル女性の課題に迫る大規模な調査が進んでいくこと、また多様な働き方、生き方を反映する統計資料が充実していくことを切に願うものである。

調査にご協力いただいた回答者と関係者のみなさまに、心から御礼申し上げたい。

2016年3月

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会  
一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会  
公立大学法人福岡女子大学 教授 野依智子

# 目次

第1章 調査の概要	1
第1節 背景と目的	1
1 背景	1
2 目的	6
第2節 調査の概要	7
1 調査の全体像	7
2 実施体制	9
第2章 ウェブアンケート調査の結果	10
第1節 ウェブアンケート調査の実施概要	10
1 目的	10
2 実施概要	10
第2節 集計の結果	12
■集計結果の見方	12
1 回答者のプロフィール	13
2 現在の暮らしについて	19
3 仕事について	43
4 今後に向けて	60
第3章 グループインタビューの結果	69
第1節 グループインタビューの実施概要	69
1 目的	69
2 実施概要	69
第2節 グループインタビューの結果	71
1 横浜（首都圏）	71
2 大阪（近畿圏）	76
3 福岡（九州圏）	79
コラム ■声なき声を拾っていくこと	81
第4章 調査結果の考察	82
第1節 ウェブアンケート調査結果の考察の視点	82
第2節 着目した4つの視点	84
1 世代への着目	84
2 就業形態（働き方）への着目	86
3 暮らし方・生き方への着目	88
4 所得への着目	91
第3節 グループインタビュー結果の考察	92
1 “グループ”の効果とフェミニスト・アクション・リサーチ	93
2 からみあう課題と、性別役割分業による弊害	93
3 課題解決のために「つながる」「声をあげる」必要	94
コラム ■あらゆる手立てを考え、取り組んでいきたい	95
第4節 調査結果考察のまとめ	96

第5章 課題解決に向けて.....	99
第1節 検討委員等による提言.....	99
1 「男性稼ぎ主」モデル崩壊後の、新たな女性の問題（野依智子）.....	99
2 非正規職シングル女性をめぐる、3つの不公平と3つの提言（鈴木晶子）.....	100
3 安心で安全な場づくり、そして社会通念の変革を！（錦戸かおり）.....	101
第2節 検討結果のまとめ.....	103
1 当事者が望む3つのこと.....	103
2 社会的支援の土台は社会構造の把握と提言・発信.....	104
おわりに.....	105
資料編.....	106
1 調査の検討・告知の経過.....	106
2 ウェブアンケート調査票.....	108
3 グループインタビュー同意書.....	112